



夢は続くよどこまでも

校長 越智 宏明

幼稚園児の頃、大人になったら仮面ライダーになるのが夢でした、と言うより、なれると本気で信じていました。テレビの中で仮面ライダーが、逃げる敵の車を待ち伏せし、片手で停車させるシーンに憧れ、私も走ってくる自転車片手で制止しようとして逆に跳ね飛ばされ、鼻血を流すまでは…。

小学生の時はバスの運転手になるのが夢でした。たくさんの乗客を乗せて颯爽と大型バスを操る運転手さんに憧れ、友人とバス停ごっこをしてよく遊んだことを覚えています。

中学2年生の時の担任の先生と出逢って、将来絶対中学校の先生になると決めました。当時だらしなかった自分のことを認め信じてくれた先生の姿に憧れ、将来こんな大人になりたいと思ったことがきっかけです。

それ以降は、幸いなことに、ブレることなく「中学校の先生になる!」ことだけを目標に突っ走ってきました。以前にも書かせていただきましたが、教員採用試験に7回失敗しても夢を諦めなかったのは、将来あの先生のようにになりたいという憧れがあったからに他ありません。

その夢が叶い、まがりなりにも数十年この仕事を続け、昨年4月、大原中学校の生徒や教職員、保護者や地域の方と出逢うことができ、我ながら幸せな人生だったなと思っています。

そして今、私には「次の夢」があります。

それは、「夢を語れる先生」を育成することです。学校でまず先生が夢を語ってこそ、子どもたちに夢のヒントを与えられるのではないのでしょうか?そしてそんな夢があふれる大原中学校を創造することが今の「次の夢」です。

実は、自分にそう思わせてくれた「憧れ」の人物がいます。

Jリーグ湘南ベルマーレ、京都パープルサンガ、横浜FCで活躍し、日本代表にも選ばれた加藤大志さんという元サッカー選手がその人です。スター選手として輝かしい実績を残し、2009年に現役を引退、現在は父親が経営していた物流会社を継いで、代表取締役社長を務めています。その加藤さんは本業の一方で、Jリーガーのセカンドキャリアを支援する事業も展開しています。自身が経営する会社にJリーグを引退した選手を積極的に受け入れ、午前中は会社の業務、午後は会社の中に新たに設立した「スポーツ事業部」が主催するサッカースクールのコーチとして全国の小中学校へ派遣しているのです。以前、加藤さんと直接お話する機会があり、なぜセカンドキャリアを支援する事業を立ち上げたのか、その理由を伺いました。Jリーグはサッカー少年なら誰もが憧れる夢の舞台ですが、引退後も指導者やテレビ解説者として関われる人はほんの一握りで、ほとんどの選手は、セカンドキャリアとして別の職業を探すのだそうです。しかし多くの元Jリーガーたちは引退後もサッカーに関わることを希望しており、そうした人たちの思いと「未来のJリーガー」を夢見る子どもたちをつなぐ架け橋になりたいと思ったのが事業立ち上げの理由だそうです。さらに加藤さんは、そうした元Jリーガー達に新たな活躍の場を与え、それが子どもたちの夢とリンクできるよう、JFAこのプロジェクト「夢の教室」を立ち上げ、年に100回以上、全国の小中学校で講演会を行っているとのことでした。

加藤さんの尊敬すべきところは、「Jリーガー」や「サッカー日本代表」という大きな夢が叶ってなお、その先の夢を常に見続けているところです。彼は私よりもずっと年下ですが、そんな「常に次の夢をもつ姿勢」に憧れます。

そんな加藤大志さんは、3月7日(金)、大原中学校に来校し、2年生を対象に「夢は人生の道しるべ」という演題でご講演をしていただく予定です。どんなお話が聞けるのか、今から楽しみです。

さて、3月14日、本校を巣立つ3年生248名の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんがこれから歩いていく道は、決して平坦ではなく、また時には強い風が吹いたり嵐に見舞われたりすることもあるでしょう。しかし、決して皆さんは一人ではありません。必ず皆さんのことを支えてくれる人がいます。そうした人たちと出逢いの中から、自分にとっての「憧れ」を見つけ、「果てしない夢」へとつなげてくれることを願います。

保護者、地域の皆様には、今年度も大原中学校の教育活動に対して温かいご支援とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。本校は来年度開校72年目を迎え、制服の変更等大きな変革の時を迎えております。今後もさらに生徒主体による活力あふれる学校づくりを創造して参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。



3年生が総合的な学習の時間でブーメランを作成し、グラウンドで一斉に飛ばしました。青空の中高く飛ぶ上がるブーメランの行方に子どもたちの未来への希望が重なります。